

アマルティア・セン、ジャン・ドレーズ著「開発なき成長の限界―現代インドの貧困・格差・社会的分断」明石書店、2015 年 12 月 15 日刊を読む

第 5 章 なぜ教育は重要なのか

<はじめに>

- (1) ラビンドラナート・タゴールは、当時のインドの状況を分析したうえで、次のように述べている。
- (2) 「インドの精神の上に重くのしかかっている悲惨という壮大な塔は、その第一の土台を教育の欠如に置いていると私は考えています」
- (3) インドが抱える数々の問題の中から、一つの要素だけ取り上げているという意味で、この発言は、やや極端ではあるが、タゴールが示した見解は、大変示唆に富んでいるものである。
- (4) 開発と社会的進歩の過程で、「基礎教育が果たす役割」は、とても幅広く、かつ、極めて重要である。

1. <第一>

「読み書きや計算の能力は、生活の質に、大きな影響を与える」

- (1) 読み書き計算の能力を身に着けることによって、
 - ①世の中を理解し、
 - ②しっかりした情報に基づいて生活を送り、
 - ③周りの人たちとコミュニケーションをとり、
 - ④現在起きているものごとに幅広く目を向けるという自由が得られる。
- (2) 社会では、特に今の世の中では、
 - ①文字による意思疎通が必要な位置を占めているため、
 - ②読み書きができないということは、牢屋に閉じ込められているようなものであり、
 - ③そこから逃れるための扉を開いてくれるのが、学校教育なのである。

2. <第二>

「経済的成功を手にする可能性や、職を得られる見通しというのは、教育を通して学んだ内容や、修得した技能に大きく左右される」

- (1) ①文字情報を理解したり、ある特定の作業にかかわる数字を追いかけてたりする能力は、単純労働にも必要な適正とされることがあり、
 - ②生産と流通で分業化が進んでいる現在では、このような傾向はさらに強まっている。
- (2) また、
 - ①世界的規模で商取引が行われる中で、教育の必要性は一段と高まってきており、
 - ②中国のような経済的成功は、全世界へ向けて財・サービスを提供するために必要となる品質管理や技能形成といった条件を満たす、それなりに教育を受けた労働者の能力に負うところが大きい。

3. <第三>

「読み書き能力が広く社会にいきわたっていないと、政治的要求を訴える声が弱弱しいものになるため、人々に十分な保護が与えられないような状況に直結してしまう」

○「読み書きができないために、弱められてた人々の声が、不十分な学校教育によって、口をふさがれているような状況から解き放されたときに、民主主義が機能するようになる」

4. <第四>

「保健、特に公衆衛生に、基礎教育は大きな役割を果たす」

- (1) どのように伝染病は広まるのか、どのようにして病気を防ぐことができるのか、専門的な衛生教育が重要。
- (2) 一人一人の考える能力を伸ばしたり、疫学的な問題が発生した場合に、大きな効果が得られるような社会全体の判断力を養ったりすることは一般教育によっても可能である。
- (3) 実際専門的な衛生教育よりも、一般教育の方が健康な状態を保つのに、より大きな効果があるという研究もある。
- (4) 予防接種、衛生管理、伝染病予防などに関する公衆衛生上の取組みを行う際には、学校教育がその手助けになることも。

5. <第五>

「学校教育と読み書きの能力が普及することで、何を人権とみなせるかについての理解が、はるかに明瞭になる傾向にある。

- (1) 現在の世界的な人権意識の中に、保健医療は確実に位置づけられているであろう。
- (2) 健康を保つことの重要性や保健関連の施設・サービスの提供が果たす社会の役割についてはっきり認識されるようになった。
- (3) 教育面での発展が重要な原動力となって、幅広く定義された人権と呼ばれるものが持つ広がりや奥行きに関して、人々の意識に変化がもたらされる。

6. <第六>

「法的権利を理解したり、実際に行使することにも教育は影響を与える」

- (1) 法制化された権利をすでに手にしているかもしれないのに、市民がそれを活用できずにいることがある。
- (2) 読み書きができなければ、自分に与えられている法的権利を理解し、それを実際に行使する能力が大きく制約されてしまう。
- (3) 女性に権利を実現するうえで、読み書きができないことが、最大の障害の一つとなっていたバングラディシュについて、サルマ・ショパンが何十年も前に明らかにしているように、この点は女性について特に当てはまるのが、様々な証拠から明らかになっている。

7. <第七>

「若い女性に学校教育を植えさせることで、家庭内での女性の発言力や決定権が大きく向上する」ことが様々な証拠によって明らかになっている。

- (1) 家庭内での平等が一般的に重要であるというだけではなく、
- (2) 女性が発言力を持つことによって、その他にも、数多くの社会的な変化がもたらされる。
- (3) 女性のエンパワーメントが出生率を大きく引き下げる。絶え間ない出産と育児によって、最も大きな影響を受けるのは、若い女性の生活であり、さらに、女性の発言力を高めたり、女性を取り巻く利害についての関心を高めたりすることであれば何であれ、あまりにも頻繁な出産に歯止めをかける傾向が全般的にみられるからである。
- (4) さらに、女性が教育を受け、読み書きができるようになると、子どもの死亡率が低下する傾向がみられる。
- (5) 実際、多くの国々で、女性の識字率と子供の生存率が密接に関連している。

8. <第八>

「教育は階級に基づく障壁を突き破る万能薬ではないが、階級やカーストによる分断と結びついていいる不平等を緩和するうえで大きな役割を果たす」

- (1) 階層化という現象は、インドの経済開発と社会開発にとって、依然として深刻な障害である。
- (2) しかし、教育の普及は、こうしたインド社会の病根を取り除いていくための重要な手段の一つである。

9. <最後に>

「学習環境がしっかり整えられ、支援が行き届いているのであれば、学ぶということは、とても愉快で、創造性が刺激される活動である」

- (1) さらに、学校教育で得られる長期的な便益とは全く別に、
- (2) 学校で教育を受けるという過程そのものが、若者の生活の質そのものを、著しく向上させる。
- (3) 学校へ通うということは、児童労働、家庭内労働、その他の仕事よりも、ずっと好ましいだけでなく、子どもたち自身の生活を、実り豊かで、楽しいものにしてくれるのである。
- (4) 手の届く範囲の費用で、しっかりとした（そして安全な）教育機会が家の近くで提供されるのであれば、親が（娘であろうが息子であろうが）子供を学校に通わせることを、非常に嫌がるという傾向は全く見られない。
- (5) 子供を学校に通わせることに親があまり乗り気でない場合には、学校を取り巻く環境に問題があることが多い。
- (6) 例えば、両親が働いている場所から、かなり離れたところに学校が位置しているとか、学校には先生が一人しかおらず、その先生も出勤しない日があるかもしれないような場合、子ども、特に女子の身の安全に不安があることなどが理由としてあげられる。

<コメント>

1. 2025 年 8 月 20 日から 22 日までの 3 日間、横浜で、日本政府主催「第 9 回アフリカ開発会議 (TICAD9)」が、アフリカ 54 か国の代表をお招きして開催されました。
2. 日本の平均年齢は 51 歳、アフリカ 54 か国の平均年齢は 19 歳と、若い人々が中心のアフリカの最大の課題は、インドと同様、経済開発と社会開発です。本書は TICAD、アフリカ開発の参考書として、最もふさわしいものと確信します。
3. 本書、ご執筆の一人、アマルティア・セン先生は、1998 年にノーベル経済学賞を受賞。教育は潜在能力を開花するという考えは、多くの賛同を得て今日に至っています。日本の外交政策の基本方針である「国際協調主義」と「人間の安全保障」です。この「人間の安全保障」は、セン先生と、緒方貞子先生が提唱なさったものです。
4. なぜ教育は重要なのか、なぜ、読み書き計算は大切なのか、塾生や保護者にご説明する際に、この、「書き抜き読書ノート」をご活用ください。
5. 「深い理解」とは「学んだことを自分のことばでいえる（表現・説明できる）こと」です。教育の重要性、基礎教育の重要性、読み書き計算の重要性を、自分のことばで、明確に、わかりやすくいえる（表現・説明できる）ことは、毎日の授業だけでなく、塾生個別面談、保護者個別面談、教育情報講演会で、不可欠の専門能力と考えます。
6. 学習塾・予備校の先生は、知識専門職の代表ともいえますので、十分、ご理解ください。

よろしくご活用ください。

お体大切に。

2025 年 8 月 23 日（土）10 時 15 分